



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年10月30日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 谷原 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 松永 和幸 (TEL) 03(5166)2500
 四半期報告書提出予定日 2017年11月13日 配当支払開始予定日 2017年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	163,466	3.8	13,272	△9.8	14,273	△9.6	12,034	△9.4
2017年3月期第2四半期	157,412	1.7	14,723	5.7	15,781	6.8	13,286	20.7

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 12,491百万円(△3.7%) 2017年3月期第2四半期 12,972百万円(24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	115.93	115.87
2017年3月期第2四半期	128.00	127.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	382,877	181,122	45.5
2017年3月期	389,537	173,674	42.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 174,113百万円 2017年3月期 166,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2018年3月期	—	47.50			
2018年3月期(予想)			—	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	3.2	36,000	6.8	37,000	2.4	33,500	17.7	322.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期2Q	107,986,403株	2017年3月期	107,986,403株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	4,172,038株	2017年3月期	4,177,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期2Q	103,812,288株	2017年3月期2Q	103,801,670株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2017年10月30日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策や日本銀行による金融緩和策・低金利政策を背景として、企業収益に改善がみられ、また、個人消費も持ち直してきており、緩やかながら景気の回復基調が続いていたものと判断しております。

景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が継続するものと期待されます。ただし、中東や東アジア地域における地政学上のリスクや米国政権の政策運営をはじめとする、海外の政治経済情勢の先行き不透明感を背景に、今後も企業経営における景気動向判断については慎重さが必要であると考えております。

このような経済環境の下、ITサービス市場におきましては、戦略的事業の強化や競争優位性の確保といった、いわゆる戦略的IT投資需要の拡大に加えて、働き方改革への取り組みや人手不足への対応を含む、顧客企業の生産性向上や効率化・省人化を目的としたシステム更新投資需要が第2四半期に入り堅調であったことから、IT投資需要は総じて増加基調にあったものと考えられます。

具体的には、製造業企業において、本格的な普及期を迎えつつあるIoTへの対応や戦略的なグローバル化対応ニーズ、さらには、より高度化する製品開発時の製品検証や製品サービスに対するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス需要等により、ディールフローが堅調に推移しております。

また、流通業・サービス業他のコンシューマービジネスを手掛ける顧客企業を中心に、デジタルマーケティング強化・オムニチャネル化に向けてのEC・CRM領域やビッグデータ分析関連の投資等、戦略的なIT投資及びITサービス需要が増加基調にあります。

さらには、金融機関においても、一部の顧客企業に大型案件の完了に伴う投資需要反動減がみられるものの、銀行業や保険業等を中心に、競争力強化を目的とする、例えばFinTech・AI等の新しいIT技術の活用や決済システム高度化に向けた対応等、システム開発を中心にIT投資需要は堅調に推移しております。

加えて、顧客企業経営層の業務効率向上に対しての強い意欲、顧客企業のIT人材不足を背景に、IaaS・PaaS他のITインフラ領域での各種クラウド型ITサービスへの需要、そして、まだ一部ではありますが、業務システム領域での各種ITサービス需要が増加基調にあったものと考えております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は、製造業や流通業向けシステム開発や通信業向けシステム販売が増加したこと等により、前年同期比3.8%増の163,466百万円となりました。

営業利益は、増収に伴う利益増はあったものの、戦略的事業・サービス提供型ビジネスの推進に向けての各種事業投資関連費用の増加や金融業向け一部大型システム開発案件の立ち上がりの遅れ等の影響があり、前年同期比9.8%減の13,272百万円となりました。

経常利益は、営業利益の減少等により、前年同期比9.6%減の14,273百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、子会社株式の譲渡に関連する税効果を計上したものの、期初より想定の前年第1四半期に計上した会計基準変更に伴う税効果の反動減もあり、前年同期比9.4%減の12,034百万円となりました。

当社グループは、2016年3月期よりスタートしました5年間を計画期間とする中期経営計画の目標達成に向けて、「サービス提供型ビジネスへのシフト」、「時代の変化を捉えた戦略的事業の推進」、そして「グローバル展開 第2ステージ」の3つの基本戦略を現在積極的に推進しております。

当期は、これらの基本戦略に係る事業推進を相応の事業投資を行った上で着実に進めるとともに、さらなる業務品質の追求や生産性の向上をはじめとする各種経営基盤・収益力強化に向けての取り組みに注力してまいります。足元の堅調なIT投資需要を確実に取り込むことで収益力を維持・拡大するとともに、システム開発事業はもとより保守運用・サービス事業、そしてシステム販売事業の全事業において生産性・業務品質の向上に努め、収益基盤をさらに拡充してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9,841百万円減少し、114,093百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は12,768百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益14,239百万円、減価償却費4,788百万円、売上債権の減少による資金の増加5,357百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少5,170百万円、たな卸資産の増加による資金の減少1,306百万円、差入保証金の増加による資金の減少5,846百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は7,174百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による資金の減少5,035百万円、無形固定資産の取得による資金の減少1,701百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は15,397百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による資金の減少10,000百万円、2017年3月期期末配当金(1株当たり47.5円)4,941百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の通期連結業績における売上高及び営業利益、経常利益につきましては、顧客企業の堅調な戦略的投資並びに効率化投資需要を背景に、下期以降は金融業向け大型案件の立ち上がりも含めて期初想定以上の業績進捗が想定されることから、2017年4月28日に公表しました通期の業績予想は据え置くことといたしました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日公表しております「子会社株式の譲渡に関するお知らせ」にありますとおり、(株)クオカードの株式譲渡による特別利益が発生する見込みとなったことから、以下のとおり修正いたします。

なお、詳細につきましては、本日公表しております「子会社株式の譲渡に関するお知らせ」及び「特別利益の発生見込み及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(2018年3月期 通期連結業績予想数値の修正)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	340,000	36,000	37,000	24,500	236円01銭
今回修正予想(B)	340,000	36,000	37,000	33,500	322円69銭
増減額(B-A)	—	—	—	9,000	—
増減率(%)	—	—	—	36.7	—
(ご参考)前期実績	329,303	33,714	36,121	28,458	274円16銭

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,363	19,639
受取手形及び売掛金	65,764	60,402
営業投資有価証券	6,056	3,934
商品及び製品	6,779	7,516
仕掛品	341	913
原材料及び貯蔵品	50	49
預け金	98,171	96,054
差入保証金	45,359	51,200
その他	22,466	25,598
貸倒引当金	△47	△35
流動資産合計	272,306	265,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,863	33,921
土地	19,821	19,821
その他（純額）	13,862	17,558
有形固定資産合計	68,546	71,301
無形固定資産		
のれん	133	99
その他	11,691	11,329
無形固定資産合計	11,825	11,428
投資その他の資産		
投資有価証券	9,564	10,325
その他	27,417	24,667
貸倒引当金	△124	△118
投資その他の資産合計	36,857	34,875
固定資産合計	117,230	117,604
資産合計	389,537	382,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,362	16,188
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	5,000
未払法人税等	2,262	3,012
賞与引当金	6,418	5,790
役員賞与引当金	195	24
工事損失引当金	50	73
カード預り金	91,828	92,025
その他	26,802	28,230
流動負債合計	183,919	165,346
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	5,000	—
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	2,359	1,814
資産除去債務	2,278	2,406
その他	2,284	2,166
固定負債合計	31,943	36,408
負債合計	215,862	201,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,047	3,046
利益剰余金	151,722	158,815
自己株式	△8,425	△8,419
株主資本合計	167,497	174,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,308	2,467
繰延ヘッジ損益	△5	7
為替換算調整勘定	△73	△104
退職給付に係る調整累計額	△2,829	△2,852
その他の包括利益累計額合計	△599	△481
新株予約権	70	65
非支配株主持分	6,706	6,943
純資産合計	173,674	181,122
負債純資産合計	389,537	382,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	157,412	163,466
売上原価	118,951	125,122
売上総利益	38,460	38,343
販売費及び一般管理費	23,737	25,070
営業利益	14,723	13,272
営業外収益		
受取利息	35	36
受取配当金	32	39
持分法による投資利益	249	258
カード退蔵益	696	737
その他	176	96
営業外収益合計	1,188	1,167
営業外費用		
支払利息	81	65
投資有価証券売却損	—	1
社債発行費	—	48
その他	48	52
営業外費用合計	129	167
経常利益	15,781	14,273
特別利益		
固定資産売却益	13	2
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	16	2
特別損失		
固定資産除却損	11	12
固定資産売却損	5	20
減損損失	37	—
投資有価証券評価損	0	—
会員権売却損	0	—
会員権評価損	3	3
特別損失合計	59	35
税金等調整前四半期純利益	15,738	14,239
法人税、住民税及び事業税	1,000	2,279
法人税等調整額	1,090	△410
法人税等合計	2,091	1,868
四半期純利益	13,647	12,370
非支配株主に帰属する四半期純利益	360	336
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,286	12,034

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
四半期純利益	13,647	12,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	148
繰延ヘッジ損益	56	13
為替換算調整勘定	△624	△33
退職給付に係る調整額	27	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	22
その他の包括利益合計	△675	120
四半期包括利益	12,972	12,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,600	12,151
非支配株主に係る四半期包括利益	372	339

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,738	14,239
減価償却費	4,167	4,788
のれん償却額	53	34
減損損失	37	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△178	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,333	△464
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	13
固定資産除却損	11	12
固定資産売却損益(△は益)	△7	17
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	1
持分法による投資損益(△は益)	△249	△258
受取利息及び受取配当金	△67	△75
支払利息及び社債利息	81	65
投資事業組合運用損益(△は益)	8	△40
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	1,911	2,088
売上債権の増減額(△は増加)	3,282	5,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△766	△1,306
差入保証金の増減額(△は増加)	△4,914	△5,846
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,457	△5,170
カード預り金の増減額(△は減少)	1,319	197
その他	△2,519	263
小計	15,117	13,902
利息及び配当金の受取額	167	159
利息の支払額	△74	△80
支払補償金の支払額	△15	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,706	△1,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,489	12,768

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	700	—
有形固定資産の取得による支出	△6,325	△5,035
有形固定資産の売却による収入	986	6
無形固定資産の取得による支出	△2,704	△1,701
投資有価証券の取得による支出	△300	△400
投資有価証券の売却及び償還による収入	35	115
短期貸付金の回収による収入	3	4
投資事業組合出資金の払戻による収入	41	—
敷金及び保証金の差入による支出	△76	△199
敷金及び保証金の回収による収入	95	146
その他	△210	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,755	△7,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,000	△10,000
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△387	△345
自己株式の取得による支出	△3	△7
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△4,160	△4,941
非支配株主への配当金の支払額	△105	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,657	△15,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△491	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,414	△9,841
現金及び現金同等物の期首残高	98,445	123,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	97,031	114,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	19,215	12,995	22,402	34,957	11,662	20,830	33,422	1,539
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,058	525	4,774	422	1,572	1,134	2,999	0
計	21,274	13,521	27,177	35,379	13,235	21,965	36,422	1,540
セグメント利益	1,854	2,262	3,222	3,653	571	1,475	2,455	146

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	387	157,412	—	157,412
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,394	14,884	△14,884	—
計	1,781	172,296	△14,884	157,412
セグメント利益	58	15,700	△976	14,723

(注) 1 セグメント利益の調整額△976百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	19,503	12,894	22,747	34,764	12,437	21,581	37,260	1,892
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,529	538	5,013	732	2,038	970	2,969	0
計	21,032	13,433	27,760	35,496	14,476	22,551	40,229	1,892
セグメント利益	1,551	2,333	2,566	2,998	401	1,169	3,222	150

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	384	163,466	—	163,466
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,548	15,341	△15,341	—
計	1,933	178,807	△15,341	163,466
セグメント利益	17	14,411	△1,138	13,272

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,138百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より社内組織の一部を見直したことに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。